

## 生野中学校区学校適正配置検討会議（第9回）会議録

1 日 時 令和3年8月25日（水） 午後7時から

2 場 所 生野区役所 6階大会議室

3 出席者

（委員）

石川 隆久委員、浮田 和之委員、大西 範幸委員、小谷 忠司委員、菰池 愛委員、  
金城 知男委員、下村 泰子委員、古瀬 浩久委員、森 秀直委員（座長）、  
吉田 貴司委員

（学校）

楠井 誠二（生野中学校長）、松永 かおり（林寺小学校長）、中山 吉一（生野小学校長）、  
庄司 量士（舍利寺小学校長）、禰宜田 陽子（西生野小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、上原 進（学校環境整備担当部長兼生野区役所こども未来担当部長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育担当部長）、花月良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、大川 博史（生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、川楠 政宏（地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、渡辺 久志（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴）

0人

4 議題

（1）標準服等の選定について

5 報告

（1）安全対策専門部会の開催結果について

6 議事要旨

【標準服等の選定について】

（1）行政からの説明

（説明者：座長より説明）

（議事資料1及び資料1～3に沿って説明）

- ・標準服等専門部会における、意見交換の結果について、私の方から報告させていただきます。議事資料1をご覧ください。専門部会では標準服と体操服と、通学路用バッグ等について、現物確認をしながら、アンケート結果を参考に、子ども達が学校の一員として誇りと責任

を持てるよう、デザイン、機能性や学校における指導上の観点、保護者の負担にも配慮し、必要最低限の指定であるか、確認しながら意見交換をしました。

- ・意見交換をした結果、標準服等については、資料1のナンバー4に選定しました。体操服等は、資料1、2のナンバー1を選定しました。通学用バッグ等は、資料1、3のナンバー3を選定しました。また学校における指導上の観点から、新しい標準服等を各学校用品を使用する学年について、学校長から提案があり、意見交換の上、資料2の1の通り、標準服等の、各学校用品を使用する学年としました。標準服等の各学校用品を使用する学年の提案は、学校からということにより、標準服等の会議をする対象学年が、資料2の2の通りに確定し、内容を確認しました。また専門部会開催後、設定した標準服等の、事業者と学校と、私と、行政を交えて、標準服等の詳細な費用の打ち合わせをいたしました。それをもって、ちょっと仕様変更とかさせて頂きました。
- ・まず、帽子の色についてですが、今の既存の小学校でこれより濃い色を使っているという小学校があったんで、服と合わせた時に、服がどうしても、制服が黒っぽいで、大分濃い感じに見えるんで、ならちょっと帽子だけが明るいんちゃうんかという事で、濃い色で、業者の方で探してくださいという事で、探してもらったら200円アップという事やったんですよ。で、通学帽子というのが、今全国的になんですけど、作ってる帽子屋さんがもうほとんど少なくなったんで、取り合いみたいな感じで、帽子の価格もめちゃくちゃ上がってるんですけど、その中で、色味がちょっと濃いだけで、1,600円から1,800円、200円上がるって言う事に対して、どうせやったら200円…200円が大きい言われたら大きいんですけど、でも200円の差で1,600円の奴が1,800円で、制服に近い紺色という事になったらそっちの方がいいんじゃないかという意見が、まあまあありますけど。その辺をちょっとここで決を取ってというか、どっちにするかというのを決めて頂きたいと思いますが、どうですか？濃い方が良いて思う人は、挙手をお願いします。

<各委員挙手により濃い色の帽子を選定する>

(委員)

- ・次に後期課程用のシャツに入れるワンポイントの文字についてですが、Mは見てもらった通りなんですけど、最初は今の生野中学校に入っている、Iというやつの花文字でどうかということやったんですけど、業者さんが入れてきたMという花文字の方がなんか映えるような気がしたんで、そっちが良いという意見が多かったんですけど、一応ここでもお諮りしてどちらかに決めたいと思います。

<挙手によりMとする>

(委員)

- ・Mの方が多かったので、Mの提案を決定させてもらいたいと思います。デザイナーさんも考えて入れた中で、やっぱりあのMの方が良いんじゃないのかという事もあったので、それで決定させてもらいます。それと、ちょっと補足なんですけど、上着はジェンダーの関係で、打ち合わせを男版にしています。男も女もおんなじ打ち合わせ。一緒です。小学校でも中学校でも同じです。ボタンはワンタッチボタンというか、後ろから裏ボタンで縫ってるんで、糸で縫うことなく、もし取れたら裏のボタン、裏ボタン、プラスチックのどこ

ろなんで、ぷちって止めたらずぐ付けれるんで。糸持ってないお母さんでもという形になります。とりあえず男向きのブレザー、女向きのブレザーになってますけども、当分は男子であったって、女子向きのブレザー購入してもらってもいいし、女子であったって、男子向けのブレザー購入してもらっても良いって言う事で、決定させてもらってます。スカートだけが、柄行きが、今店頭に出てる分が後期型の柄になるというだけで。勿論オプションというか、自由項目で、キュロットスカートもあるし、パンツもありますので、それは選択して、後でオプション購入という事にして、一応お願いしています。他何か、部会によって選定した標準服等について、ご意見ございますか。

## (2) ご意見等の概要

(委員)

- ・いいですか。

(委員)

- ・はい。

(委員)

- ・今、多数決で決まったらいいんですけど、帽子はもうちょっと明るい色ってないんですか。制服と揃えるというのはいいのかもしれないけど、たまたま今日僕の現場が茨木やってね、で、集団登校の子どもの黄色、物凄い目立つんよね。あれ、今日子ども等の意見を聞いてたら黄色はなんかあれやって言うけど、もうちょっと違う、あれやったら遠い所から来る子等が通らへんのって、夕方とかね。福井さん、なんかそんなアドバイスないんですか、帽子の色、プロの目として。

(委員)

- ・これね、検討部会でも出たんです。1番最初に黄色の方がええんちゃうかっていって、黄色の方が安全性あって、ええやろうということやったんですけ今現校4小でほとんどが紺の帽子なんです。だから黄色より紺の方がええやろうということで、紺色をベースに決定したんです。せやから黄色の帽子の方が多分紺色よりも汎用というか沢山出てるので、価格的にももうちょっと安いかもしれへんというのも、やっぱり黄色より紺の方がという意見が大多数やったんで今回部会で決めさせてもらいました。

(委員)

- ・大多数もあれやけど、僕としてはやっぱり距離が伸びるわけやから通学路の距離が、やっぱりその点でもうちょっと安全面でどうなんやろうってクエスチョンですよ。ただ紺だから悪いとかじゃなくて、遠い距離を歩く子達にとって冬の夕方とかどうなんやろうって、凄い疑問が湧いてくるんやけど。

(委員)

- ・そのためにエンブレムにしても体操服にしても後ろからでも前からでも光るんで。

(委員)

- ・あの帽子光る？

(委員)

- ・帽子は光らないですよ。服自体にそういうやつを入れてるから、それで安全を確保しよう

ということで今真っ暗な中でちょっと光らせても、ほとんど分からなかったんですけど、ちょっと距離を離れて真っ暗にしてライトを当てたら凄い光るので。

(委員)

- ・でもエンブレムあの大きさですよ。この小っちゃい。

(委員)

- ・小さいというか、あれよりもちょっと大きかったと思うんですけど。

(委員)

- ・そのワンポイントですよ。

(委員)

- ・うん、そうです。

(委員)

- ・さすがにちょっと危くないですか？帽子が光るとかであるのであれば、まだ分かるんですけど、胸のワンポイントだけ光るといのは、僕はちょっと危ないと思います。

(委員)

- ・僕も思いますわ。帽子がもうちょっと安全面とか、ただ被ればいいというわけじゃなくて、もうちょっと安全面で、なんか上手いことできるようなやつがあれば、いや別に黄色にしろって、紺色が悪いって言うわけじゃなくて、もうちょっとなんか目立つ、一応、沿道とか通る時でも暗い所も若干あるし、舍利寺とか林寺、奥の方に行ったら暗い所も多いと思うよね。やっぱり部会の人達が決めてもらったのは尊重するんやけど、もう少し安全面というものを考えた時に、この色が果たしてどうなんやろうってって思うんですけどね。

(委員)

- ・逆に皆さんはライン、反射がラインのテープとかというご意見とか出なかったですか？

(委員)

- ・いや、帽子にしても、元々の価格が1,600円1,800円。それに反射のラインを入れたら3,000円になるとか、それでも買うんかという話になってくると、やっぱりちょっと難しいやろうというので、だからワンポイントでエンブレムが光るだけやから危ないんちゃうかというけども、服全体が光るといのは絶対ないし、ワンポイントで光ってしてもその光が、反射素材が今は昔と違ってめちゃくちゃ良くなってるんで、パッと光当たった瞬間に分かるようになってます。それと前から来る車というのは、ほとんどこっちも前向いてるので分かりますやん。後ろから来る車というのは車にしても自転車にしても、こっち後ろに目がないから分かんないけど、後ろから来ることに関しては大きいプリントにしたら、よう分かるからというので大分リュックにしても体操服にしても大きいプリントにしてます。で、安全面だけで言ったら、ほんまに言ったら帽子黄色にしとかなないと、日本中で黄色い帽子がなんで多いって言ったら安全面からというので、黄色の帽に決まってるんですよ。だから最初に決める時に黄色の方が安全じゃないかという意見も出したんですけど、結局、紺色が多いし、紺の方が落ち着いていいんじゃないかというので、一応、紺色になりました。ライン自体は素材的に200円でも300円でも加工するのにもまた。元々バイオ

オーダーという形じゃないので、帽子になったら、元々紺色やったら、何種類か紺色が多分あって、あの形の帽子があるからそれに校章を入れるとかなんとかで対応できるんですけども、それをまた反射材を入れるとかバイオーダーにすると、価格がどんどんあがってってしまう。それと新生の人数がどれだけいてはるかということで、そこもやっぱり価格に反映してしまうので、できるだけ価格も抑えて良いものをより適正な価格で販売ということで、この価格が提示された時点で他校と比べるのだったら、あとというぐらい納得してもらえenと思いますわ。現行の他の中学校全般と比べて生野未来学園こндаけ制服を作って、その価格が今の現行の制服よりも、こんな安いん？というぐらいの価格設定できてるんで、そこはいい物をより適正な価格で作れたらと思っています。

(委員)

- ・帽子を買い替える。

(委員)

- ・帽子を買い替える？

(委員)

- ・買い替える。低学年だけなんかできないですかね。

(委員)

- ・ちょっとイメージでは黄色に…。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・新一年生には保険がついた黄色い交通安全対策のワッペンもらえます。で、肩に付けさせたり、うちは帽子に付けさせていたんですけど、黄色くて目立つワッペンが配られます。それがまず

(委員)

- ・それはどこから配られるの？

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・それはどこやったか。名前は忘れまして。

(委員)

- ・交通安全協会。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・交通安全協会から人数分配されることになっています。それが目立つので、大体2年生ぐらいまで付けてる感じになるんですよ。

(委員)

- ・1、2年に保険が。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・というのでカバーできる部分もあるかなって、今ちょっとお伺いしてて思いました。

(委員)

- ・そうですね。古いっちゃ古い件なんですけど。

(委員)

- ・見えないよりかは。

(委員)

- ・今、ランドセルとかでも反射素材、今もこうやって普通に付いてるのがあるから、行き帰りとか、通学鞆にしても反射素材があるんで、背負ってるとかいう状態では、暗い道とかで反射というのは多分はカバーできるのかなとは思いますがね。

(楠井生野中学校長)

- ・反射素材ということで言えば暗い時間帯のみこうなるとは思いますが、私、中学校ですけど、多分ですけど、中学生は暗い時間帯に部活動やっているんで、下校ということが多い。非常に反射素材、鞆もそうですし、ジャージもそうですし、標準服も大いに、あの面積でしたら3倍ぐらいありますよね。あの3倍ぐらいの反射素材をやるやつというのはありがたいかなって思うんですけど、ちょっとよく分からないんですけど小学生が暗い時間帯に帰ってあんまりないのかなと思うんですけど、私、中学校の生徒が反射素材、ほんまにありがたいな、ジャージもそうやし、鞆もそうやし、安全やなというのも思ってたんですけども。

(委員)

- ・小学校は学童があって学童保育、学童はあるでしょう。その各全小学校の所まで送ってくれるとかいう話ありましたやん。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・一応、いきいき放課後事業というのがあって、午後6時までは学校で活動できるということになってます。ただ午後5時を越えると保護者のお迎えが必須になるというのがあります。午後5時を越えて保護者の方がお迎えされる場合で、もと小学校まで連れて帰ってもらってほしいという希望を確認した上で、もと小学校まで連れ帰って、それは引率付きで連れ帰って、5時以降に保護者の方にもと小学校でお返しするという事業は別で組んでいく事です。なので基本的にはいきいき放課後事業でいきますと、午後5時までは個別で帰る可能性がある、午後5時以降は保護者の方がお迎えに行かないといけないということになります。

(委員)

- ・安全かどうかって言われたら、絶対に安全って言いきることもできへんけど。当時がということもありますけど、現行は校区が狭いって言われたらそれまでなんですけど現行紺の帽子で問題なかったということだったので、それはちょっと距離が伸びるからというて、どれぐらい問題あるやろうということもあるんですけど、最初にもう帽子決めるって言うた時に圧倒的多数で1対9ぐらいで黄色の帽子却下されたんです。僕は黄色の方がええんちゃうのかと思ったんですよ。黄色の方が安全やし、黄色の方が案外全体としたら作ってる量が多いんで、安くもできるしって思ったんですけど、今の紺色の方が落ち着いて見えるというか、賢く見えるというか、そういう風に言われたんで、そう言われるとそうかなって、まあ紺であっても、他校もそうなんですけど紺で作ってる学校で事故が多発してるかそういう問題も全くなかったんで、ちょっと距離が伸びるから心配というのは確かにあるんですけど、その分ちょっと他の面でカバーして小学生低学年に関しては五時やから、1月とか12月2月ぐらいやったらちょっと薄暗いかなとは思いますが、そんなにめ

ちやくちやく暗いということではないので、それでどうですか。今、区長さんが言われたように、交通安全協会からワッペン、黄色いやつ配ってもらえるんやから、それを帽子なり鞆なり、分かりやすい所に付ければ安全は一応は確保されるのかなと思うんですけど。紺色でいいですか？じゃあ一応紺色をお願いします。後なんかご意見ありますか？

(委員)

- ・ちょっと鞆なんですけど両方背負タイプなんですか？今の学校でどういう、何がいるのかというのを現状ちょっと把握してないから。

(委員)

- ・生野中学校でこの間やらせてたんですよ、業者呼んでね。その時に校長先生、生活指導の先生が来てもらって、で、見てもらって中に入るのかは、これでいいんちゃうかと、後ろに鞆今置いてるらしいんですけど、そこに入るかどうかというのも、きっちり検証してもらって入るんでこれになりました。

(委員)

- ・そしたら両方同時に使うってことは基本的にないですか？

(委員)

- ・両方使うということもどうなんやろうって、荷物が多かったらあるかもしれないんですけど。

(委員)

- ・現状使ってはりますか？

(楠井生野中学校長)

- ・現状でいえば今で言えばボストンの緑バッグとこのナップと両方使ってる子が多いですね。やっぱり荷物が多いので、体操服を入れたりとかでしてますけども、今の子ども達の持ち方で言えば緑バッグのボストンですけども背中に背負うこともできるんです。こういうのはボストンを背中に背負って、これナップですけども、これもそうですけども、今は本をナップもそうですけど、手提げで持てるのでナップを手で持って来てるというのが、今の現状では多いですね。緑鞆は肩からかけて、手にナップを持ってということもありますけども、テストとかで荷物が少ない時にはナップサックだけで登校してもいいという日がありますので、そういう日はナップサックだけで来てることもあります。現状の使い方としてはそういう使い方なんです。

(委員)

- ・今うちの子ちょうど通ってるんですけど、ボストンをリュック代わりにしてるんですけども、腰らへんまで下げて背負ってるんです。で、その上からナップサック背負ってるんで、嵩張ることがないんですよ。2丁掛けしても嵩張らないんですけど、今回これ2つともなんで、持ち方如何で全然使い勝手合わんなるんです。

(委員)

- ・ただ現行の緑バッグに比べて今のこの新しい鞆は1.3倍から1.5倍ありますわ。大きさからいって、これになんか入れて検証させてもらったんですけど。

(委員)

- ・体操服等々使い分けて鞆を持っているので、どうしても多分2つになると思うんですよ。

(委員)

- ・そうやったら選定する時に3WAY というのを限定はしてなかったの、今の鞆というのは3WAY なんですよ、肩からも掛けれるし、背中も背負えるし、手でも持てるという、それが3WAY なんですけど。選定する中で3WAY にという固執はしなかったんです。3WAY に固執しなかったんで1番使いやすい形というか、今あれが流行りの大きさのバッグということやったんで、それで決めました。リュックといっても入れるものが、リュックの中には重たいものは絶対入れないと思うので、両方持っていくという場合は、リュックを手で下げて持っていてもいけるんちゃうかということで、いけば体操服みたいな軽いやつをリュックに入れて、重たいやつは今の通学鞆に入れるということで、それと学校さんの方も一応ある程度、教科書とかそんなをロッカーっていいですか、後ろに置いとけるということ僕らの時代と違って、全部持って来て全部持って帰るというような指導はしてないって聞いたので、これでいけるんじゃないか、上手いことしたら1個でいけるんちゃうか。下、体操服というか体育館シューズ入るようになってるところに体操服を入れてもいけるのかなというのはあったんで、一応これが一番ええかなというので決めました。価格も他の出た鞆と比べてここが、いい鞆で価格も大分違いました。はっきり言って。簡単に500円、1,000円ぐらいの差じゃなかったの、だったらこれがいいんちゃうか、ほんでこれも作ってくれはったんが、同じ中学校校区に住んでる保護者さんがデザインしてくれはったらしいんで、それも考慮の中に入れた中で、最初は大きすぎるんちゃうとか色々意見があったんですけど、生野中学校のロッカーにも入るし、ちょうど収まるし、これで荷物とか入れたら、こんだけ入れても大丈夫やなという風な話でなったんで、一応これに決定させてもらいました。緑の鞆にしても、あれ見た目よりも入らないですわ。大きさとか寸法もA4サイズのとかそんな計算された寸法で測ってないんで、無駄になんか動いたりとかして、きっちり全部収まるかというたら収まらないと思います。この鞆の方がきっちり収まると思いますわ。使用したら解るやろう。後3WAY で皆他の学校も3WAY で生野中学校も緑の鞆が決定した時は、3WAY がめちゃくちゃ流行ってたんですよ。だから3WAY の鞆というのはあの当時出来た、もう十何年前に出来た学校というのは全部3WAY なんですけど、結果的に3WAY で3つの掛け方があるけども、それで触ってる子というのは、ほとんどいてないですわ。肩から掛けてるか、背中で背負ってるか、手で持って行こうというのはおれへんし、皆が段々背中で背負うようになってきてるから、リュック型がいいんちゃうかということで、リュックにしたら一応、1個の鞆で行けるのであれば、手が空いてるしというのがあったんですけど、今みたいに両方使うということになったら片手はあれなんですけど、体の負担的には両方かけた方が、重たいやつは持ちやすいかなという気はするんですけど。そういう意味でもどうですか？ちょっと、ずっと重たいのをに入れて担いでないから解らないですけど。

(委員)

- ・最近の子って肩の部分長くしてダランとほんまに。今普通にこうやると上の方になるけども。もう紐をめちゃくちゃ伸ばして、ダランとやる担ぎ方もあるし、なんか巽の方の学



校とかやったら、ほんまにそれを後ろに担がんと、もう前にこないして、荷物多かったら前にこうして、また今度違うリュックという、もうそれは買ってから工夫しようと思うんやけどね。担ぐ事も無いんやし、最近甲子園の野球部かって皆こういうボストンとか、皆その形のやつやし、その流行りというのはあると思うんですけど、人それぞれあれやと思やし、結構中学はダランと伸ばして。

(委員)

- 物品を入れて、検証した中では1個でいけるんちゃうかという、ただ言われたように体操服とかやっぱり汗とかかくしとか、せやから一緒に入れるん嫌やって言うんであれば、2つ使わなあかんと思うんですけど、感覚的には1つでも十分ちゃうかというくらいの感覚やったんですけど。昔と違って給食なので、弁当入れて行く事もないしというので、大きすぎるかなって思ったぐらいなんですけど。一応この形でいかせてもらってもいいでしょうか。

(委員)

- はい、どうぞ。

(委員)

- ありがとうございます。他、何かありますか？ありがとうございます。それでは標準服等はあれやったんですけど、エンブレムのデザインについてなんですけど、エンブレムのデザインが、9の3の1、3の8を一応部会としては選定しました。アンケート、デザイン性を見ても甲乙つけがたかったので、デザイン、今、協議で清書というか、メーカーさんの方にアレンジというか、清書してもらって、その中でどれがいいかということで、考えてもらえますか。それが9の3の3のデザイン、清書をご覧頂いてその中から今日ここで選定するために意見を頂きたいと思います。どうですか？

(委員)

- 3つから？多数決でええんちゃう。

(委員)

- 2つあって、一応その中でデザイナーさんが1つのこっちのやつを、ちょっと色を変えてアレンジしたらどうですかって言われたんで、それで作ってもらったんで。これはここで決めるんですか？

(竹口学事課担当係長)

- 今日ここで決めさせていただきます。で先程、座長、仰られました色違いの方はですね。標準服のカラーがアジサイのカラーをコンセプトにしていますんで、元々の提案というのはこの紫。で、緑色の方は今現行の生野中学校のエンブレムが、緑色が基調になっていますので、その色に合わせて緑色にしています。

(委員)

- これ、どれがいいですか。

<各委員エンブレムのデザインを確認>

(委員)

- あの、一応今ついでるサンプルはちょっと小っちゃいと思うんですけど、この間見せても

らったあれよりはちょっと大きかったかな。

(竹口学事課担当係長)

- ・これはサンプル…こういう風なので、光ります。

(委員)

- ・反射素材というのは刺繍糸のベースのやつしかできないらしいんで、刺繍型になりますけど、普通に出てる、その辺についてる刺繍のやつは全く違って、かなり上質なやつができてたんで、それで反射板、反射素材の下になるベースが、その白っぽいのがなくなってしまいうんで、それで一応清書をしてもらいました。この中でどれが一番ええか、その中で、いてる中では、向こうのデザイナーさんも言ってたんですけど、スカートのベースの色のえんじというので、真ん中がええんちゃうんかという話が出てたんですけど、それはもうちょっとこちらで決定させてもらった方がいいと思うので、これも、多数決というのはあれなんですけど、多数決で決めさせてもらいたいと思います。

<挙手の結果 No. 8 (A) に決定>

- ・じゃあこれも一応多数決で No. 8 (A) という事で、制服のデザイナーさんが一応推薦したというか推奨したこれが良いと思いますので、これで決定したいと思います。ありがとうございます。そしたら No. 8 (A) でエンブレムは決定させていただきます。次に、制服の方もいいですか。よければ次に安全対策専門部会について報告をお願いします。はい、よろしくをお願いします。

#### 【安全対策専門部会の開催結果について】

(報告者：安全対策専門部会 座長)

(報告資料1及び資料1、2に沿って説明)

- ・令和3年8月19日に第4回安全対策専門部会を開催し、通学路とその安全対策について意見交換を行いましたので、その結果を報告いたします。なお先日の安全対策部会に続きまして本日も生野警察署の交通課交通規制係の福井警部補にご出席頂いております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは報告資料1をご覧ください。主な確認事項としましては、信号や横断歩道の設置や時間帯通行規制について、設置等の可否とともに否の場合は代替として何が可能かを示し、検討を進める。登校方法については学校側からの誘い合い登校の提案に対し、学校側及び保護者側双方の意見を受け、それぞれ一度持ち帰り次回の専門部会で改めて意見交換することとなりました。次に主な説明事項等の通学路の安全対策につきましては行政より資料にそって説明がありました。また当日は生野警察署交通課の福井警部補にも出席頂きまして状況の説明を頂きました。その内容は、昨年より教育委員会を通じて要望頂いており、しっかり受け止めている。交通管理者として交通の安全性とともに、円滑性も考えなければならぬため全てに規制をかけるようなことはできない。そういった観点から交通規制、時間帯通行規制の実施は難しい。ただ理解はしている。警察庁により基準が定められており、教育委員会より説明はあったかと思う。生野区に限らず要望全てに対応することはできない。全てに対応するとなると道路が規制だらけになる。そのための基準である。これまでは生野区内の状況だけに検討してきたが、大阪府下全体として検討すれば見方が変わるかもしれないので、現在、大阪府警本部へ相談してい

るところである。というものでした。

- ・続きまして新しい登校方法についてですが、林寺小学校の松永校長より説明がありました。校長連絡会で共通理解している方法であるが、新しい登校方法について誘い合い登校を考えている。通学路は決まっているため児童の自宅、通る道、合流場所も学校側で把握している。町内会でも児童を把握されていることから声かけもでき、誘い合い登校が可能と見込んでいる。中学生において小学生の通学路を通学するように指導する方向である為、児童を見守ってくれることもあり安全対策の1つと考える。各学校において地域児童会というものを月1回又は学期2回行っており、1から9年生の中でも顔繋ぎができる。この機会を増やすことで集団作りができ保護者の方にも安心して頂けると考えている、という内容でした。
- ・その他ご意見等につきましては、記載の通りとなっておりますが、主な物を紹介します。報告資料1のその他意見等のポツ1、1つ目をご覧ください。通学路の安全対策について、関わる意見で、信号設置、時間帯通行規制については通学路全体に設置してほしいわけではない。信号設置を希望している場所では、確認事項があった。児童が通学するため、難しいじゃ済まされない。また、4小の児童が集まるので、今と状況が変わる。1時間の通行規制は難しいのかという意見に対して、それに対して警察の方からは信号設置に関しては通行量として1時間に300台という基準がある。基準がなければ信号だらけの道路になる。そのため現時点では難しいという回答になるが、大阪府警本部に相談している状況。時間帯通行規制に関しては一部可能かもしれない。ただ規制で守れるものにも限界がある。通学路の変更も検討してほしい。交通規制は真に必要な箇所のみ実施し、数を減らす方向性である。特に時間帯通行規制は規制の中でも住民への負担も大きいため、慎重に判断すべきと考えている。との回答でした。また保護者代表の委員からは、自分達は素人。どんな代替案があるのか行政側の管轄も知らない。しかし実施してほしいことを要望している。できないからといってゼロになるぐらいなら、少しでもできることをしてほしい。という意見があり、今回の安全対策専門部会では警察からの設置等の解と共に、この場合は代替えとして行政で何が可能かを示し検討を進めるとしています。
- ・新しい登校方法についての主な意見はポツ1つめですが、個別より集団の方が事故に遭う確率が高い。低学年は周りが見えていない。高学年は自分のペースで歩いてしまう。最初は良くて慣れてくると集団がバラけてくることもある。といった意見もありましたが、誘い合い登校でも結果的に保護者が見なければいけないのであれば集団登校と変わらないのでは。といったものから、誘い合い登校に対する保護者の温度が違ってくるのであれば集団登校がよい。集団登校には時間を守るといった教育的部分もある。班長となれば責任感が根付くメリットもある。といった集団登校に前向きな意見がありました。また校長先生方が、集団登校が難しいと判断されているのであれば、誘い合い登校で中身を固めていかないと仕方ないのではないかと思う。校長先生方が議論した結果、簡単に決断したものではないはず。ただ、長距離になる舎利寺小学校区と林寺小学校区の児童が心配といった意見もありました。今回の話し合いで学校、保護者の双方の考え方を知ることができたところであるので、それぞれ一度持ち帰り、次回の専門部会で新たな意見交換をすることと

なりました。報告は以上になります。ご意見等あればよろしくお願いいたします。

## (2) 質問等の概要

(委員)

- ・ただいまの報告について何かご質問ありますか。集団登校というのは、これ、あの義務教育学校ですから、3つにステージが分かれていますので、一番上の子っていったら何年生ですか。現行通り6年生ですか。

(松永林寺小学校長)

- ・1年から9年生まで考えてたんですけども、実質7年生8年生9年生は部活とかがあって朝練とかがある事が多いと聞いております。ですので小学生と同じ時間に必ず毎日行けるかというとは不可能なので、6年生になるのではないかという考え方になっています。

(委員)

- ・はい。ということです。

(委員)

- ・警察の方は。

(委員)

- ・警察の方から何か。

(福井生野警察署警部補)

- ・はい。生野警察交通規制係の福井と申します。主に交通規制等担当しているものであります。今回、小学校の方が、統合されて通学路の方が変更されるということで、先般から教育委員会を通じて要望の方を伺っております。先ほど部会の結果のご説明にもあったと思いますが、確かに交通規制、ご要望多数あると思うんですが、交通規制の実施というのは壁が高い所があります。それは先ほども説明がありました通り、例えば生野区であればここにつけるのであれば同じ状況のところにもつけなければならぬとなっていくと、交通規制だらけに。これはやはり、交通規制を無視するのを誘発する可能性というのが、高くなりますので交通規制については慎重に判断しながら1つの基準をもって設置するようにしております。ただその中にもやはり通学路であるからこそつけられるようなものというのはありますので、その辺を慎重に判断して、現在、大阪府警本部の担当官と今、要望頂いている規制について実施する、しない、これの検討に入っているところであります。もうしばらくお時間を頂いて、次の安全部会までには警察としての判断を示させて頂くことを考えております。よろしくお願いいたします。以上です。

(委員)

- ・はい、ありがとうございます。何か意見あります。

(委員)

- ・ちょっと質問なんですけど、これ、今回、立ち上がりを言った時に一番最初に言いましたよね。ここが一番大事だからというので、交通安全、子ども等の通学路。この間もちょっと部会の方にも出させて頂いたんですけど、ほとんど何もこのルートで、決定でいいんですか。このルートで。今この示されてるルートでOKなの？そこからの今、肉付け作業に入

ってるんやったら問題ないんですけど、これがそのように、時間帯規制とか信号のつくつかないによって、またルートが変わるとか、え、いつ、え、なにやってんのって話やねんけど、その辺はどういう風に区長どない考えてんの、それ。本来やったらもうある程度できてて、そこから肉付けしていくような状況にならなかつたらあかんよと、僕は思ってる。いやできてるよといったら問題ないけど。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・通学路の安全対策につきましては元々この今のルート、出して頂いてる分というのは校長先生の意見をお伺いしながらルート案を作ってきたところです。その上でどういった安全対策をとるかということ、ちょっと経過長くなるかもしれないですけども、まず行政として現場を見てどういう安全対策を取った方がいいかというのを、素案として作らして頂きました。その上で各小学校ごとに、保護者地域の方ご協力頂いて一緒に回って頂いて、そこでまた色々意見を頂戴して行って、でそれに対する対策案というのを、今、ここに載せさせて頂いているところです。基本的にこの通学安全対策についての考え方としましては、色んな頂いたご不安なんで、これに対してどういったことができるか。具体的なご要望としてこういうことをやってほしいということ、それができるかできないか、出来ない場合は代わりに何ができるか。それでもやっぱり危ないんじゃないかということであればルートの変更も検討して、再度どういう対策が必要かというのを検討していくと、いう流れで元々やりだしたものとなっております。

(委員)

- ・大分経つやんね。時間的には大分経ってるでしょ。どこまでが今、どれが確定なの。もう80%、90%くらいまでいけてんの。行政からみてその辺はどう思ってる。いやもう90%前後出来てますよって言うんやったら俺はそれでOKやし。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・昨年度に検討会議始まりまして安全部会ができた中で、それまでの間に進めてきた事項等を更に、関係機関の警察さん、それから道路管理者の建設局の田島工営所さんの方と調整を図りながら、やれることについては今年度実施する分はちゃんとやりますということで、書かせて頂いております。どうしても信号機とか横断歩道、時間帯通行規制については、最終判断する状態になってきているところなので、それ以外のところはいつて、やれるやれないという判断はもう出てきているのかなという風に思っております。

(委員)

- ・それやったらいつになったら大体骨組みができるんかな。いつの時点で骨組みができるわけ。1回じゃあこのルートを子ども等と一緒に通ってみようとか、いっぺんそういうのもやらなあかんでしょ。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・実際に現地は、その各小学校区の保護者の方々と一緒に回った上で、こうやってきてるといのはあります。

(委員)

- ・いや回ってるのは解ってるやん。そうしてくれって頼んだんやから、僕が。子ども等を通さなあかんでしょ、1回そのルートをさ。解ってる。子ども等の意見も聞かなあかんやんか。遠い距離の子等はどうするのって。全てにおいて完璧とは言えへんけど、やっぱりある程度の努力というのはしていかなあかんし、この中からどうのこうのって俺はこの部分に関しては譲られへんねんやんか。一番最初に、これやってくださいってお願いしてんねんから、校歌、校章なんて後でもいいわけ。どうでもええねん。この安全通学路の問題がある程度見えて来てますよという風にならなかつたら、どうしようもないと思うねん。いつになったらできるの。別に建設局とか警察がどうのこうのなんて、後でいいんやんか。もっと具体的にどういう風にしていこうかというルートを全部考えなあかんねんやんか。部会の人等も大変やと思うわ。その辺をどういう風に考えてるのかなと思うわけ。いつになったらこういう風にして、こういう風にしていきましょ。ね。警察とか建設局とか関係ないねんから。解る、言ってる意味が。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・ルートがあった上で、その中で取れる安全対策が決まっていけば、まあ。

(委員)

- ・いや、不可能かもしれないという風に出てるんやから、それやったらそれに対応していかなあかんやんか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、今はっきり決まってない部分の物は、早急に決めて行きましょうということで、警察さんの方からも回答を次回の専門部会までに頂くようにした上で、やれるやれない、やれない部分については、またこれができますというのを提案させてもうて、決めにしようという形で考えてるところなんです。

(委員)

- ・決まってないというのは通行、こういった信号設置が決まってないというような。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。基本的にはそういう部分が、まだ決まってないものという風に考えてるんですけど。

(委員)

- ・先に今この通学路って言えば、今の現小学校の通学路を基本としてるから、詳しいルートも、校長先生、もう多分当分前から、こういうので通学路で、ほんでその中で、議題で上ってる、その45番はどうなのか、38番はどうなのか、16番はどうなのかという、そのポイントの重要視というのが、あると思うんですね。僕もこれ学校の先生と相談されて、取り決まりという現状のやつやとは思って、それに対しての、それが設置できない、45番の信号設置できなかつたら、逆にその舍利寺さんはこれ、ここは外すルートというのを、それを進めていくという方法。信号設置が駄目な場合やったらもうイメージランプでもう

注意を促すような、もしくはその通学路とかを変えるという方法も取ったらいいんじゃないかなと思う。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。その結果如何で通学路のルート変更が必要であれば、それを早急に決めた上でそれに対しての安全対策、必要な部分をやっていくという形にはなると思っています。

(委員)

- ・もう早急にいったら、もう9月やで、もう。

(委員)

- ・同時進行はできへんわけ。信号がつくかつけへんか分からない状況の中で、じゃあこの結果を待ちましようじゃなくて、じゃあそこで警察の人にアドバイス聞いて、ここに信号がつけへんってなったら、こういうルートは、どんなルートがありますかとか、アドバイス求めるということはできるやんか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・できます。はい。その辺は早急に並行的にやっていこうとは思っています。

(委員)

- ・やってっかってんの。やっていこうと思ってるわけじゃなくてやってくれてんの。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はいやっています。

(委員)

- ・ここ3つ、安全対策であれでできへんってなったら、じゃあこういうルートをお願いしましょうかとか、色んな対策を考えるべきやと思うで、僕は。まずここをきちっとやらなかったら突っ込まれるだけやから、僕等が何をしとったんやという話やから。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・それは至急に、はい。

(委員)

- ・本来やったらもうこれは。こんなのはもうこの時点で出来てなあかんねんやんか。遅いんやと俺は、思うんやけど、どうなのかな。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・はい。今、三宅が申しあげました通りの動きで、至急速やかに進めていく予定ではありません。予定といいましたが進めていきます。委員が仰る通り、非常に遅いというのは認識しています。もう本来であれば本来というかベストであれば、来年4月開校ですので、ここについてはいつ工事が施行されますとかいう説明を出来るような、本来であればベストだったんかなという風には思っています。この中で色々他にもありますけども実際に、例えばその地図の中、細かくは申しませんが今南部の住宅改良地域の中で南北に向かってい

くところの生野小学校区の中、林寺小学校区から北向いていくところ、用地買収が始まっているところの歩道の整備、仮設経路の扱いがありますけども、そういった部分についても、申し訳ないんですけど今いつから着工しますというのは、ご説明できる段階には至ってないんですけども、実際に具体的にもう今年度中には確実に施工するという内容の方もありますので、その辺も早急にお示しできるようにしたいと思います。後、委員が一番心配頂いているのは実際子どもが通る事、後それぞれ地域で協力頂いてる見守り隊の方、そういったところに協力依頼、そういったことを含めてきっちりと準備していかないといけないということも含めてだと思しますので、きっちりその辺、速やかにやっていきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

(委員)

- ・後、あれを考えたんやね、ちゃんと低学年の距離の遠いところ。舍利寺の一番奥とか、1年生がおった時にどうするかというのも、雨の日とか。オンデマンドバスやなんやかんや言うてるけど、それ以外の方法とかは考えたん。もうそれ一本で行ってんの。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・すみません、今、具体的に検討できてる部分でいきますと、特別に支援を要する子ども、もう具体的に言いますと歩行が困難とか、そういった子どもに対して何かそんなのができる、利用できる制度はないか、今、実際には保護者の方が送り迎えされてるということとかはあるんですけども、何かできる工夫がないかというのは、具体的に検討してるのはそういった内容になってます。ですんで、そういった距離の問題で低学年に対してどうするという分につきましては、今ありましたけどオンデマンドバスという、まだこれが確実に今、運行決まってるのが半年分だけということになってます。今年度の後期、半年、後期も、まだ正式には運行というのは決定されておらずでして、来年度どうなるというのはまだ不透明な状況になってます。ここが、現実的に運行可能になっていくかというのをまず様子を見ていかないといけないという状況があるんですけども、今ありましたような遠距離からの低学年に対する何か対応というのは、今具体的にはない状態です。

(委員)

- ・ないねんや。やる言うだけでないねんや。

(委員)

- ・開校までには決まるの？

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・はい。

(委員)

- ・間違いなく。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・やれるかやれないかも含めて、まだちょっと今言えない状況ですけども。

(委員)

- ・やれるかやれないか分からん。そういう状況なん、まだ。この時期に至って。本気でやっばりやろうとしてるんやったらさ、皆そうやと思うんよね、校長先生等もね、行政の人等



も皆一生懸命やってくれてるのは分かってるんだけど、でもやっぱり時間って決まってるわけやから、そこに対してどんどんどん手を打っていかなかったら、僕等でも地域からの要望というか色々言われるわけでしょ。その時にどういう風に答えるんかという話やんか。これがこういう風になるよ。もしかしたらバスができるかもしれへんって。それは助かるね。前に区長が言ってくれたみたいに働く人が多いねんから、6時までいきいきで各小学校でもみようかとか、そういう提案を受けてるよ。ありがたいことやねって皆言うてくれるけど、なんにもかんも決まっていなかったら、嘘つきやんこれ。もうちょっとなんかきちっと出して、答えを。出せるとか出せないとか、うやむやじゃなくてさ。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・出したんですけども、やはり予算が絡んだりであったりとか、今までにないことばかりなので、そこの調整をしているというのが今の状況です。だから。

(委員)

- ・調整、調整って大分待ってるで、俺等。

(委員)

- ・この通学路だってさ、プロの人の目から見たらさ、なんで生野小学校にしなかったんやろうねって言う人等もおるわけやんか。林寺と舎利寺がうちに生野区にくっつけば、通学路でないところというのは凄く少なかったわけやんか。それをわざわざ西生野の方まで行かせるんやで。うちの地域の子等を。

(委員)

- ・いやそれは、いや別にどの小学校からだって通学路はあれやん、色々変わるから。

(委員)

- ・いや、距離が全然違うやん。

(委員)

- ・距離はそりゃ違うけど。

(委員)

- ・まして、林寺と西生野やったら1本で来れるわけやんか。そういう人の意見もあるってことやん。そこをわざわざそっちまで行くんやからな。うち等の子等も、舎利寺の子等も、林寺の子等も。もうちょっときちっとした回答を出していこうよ、皆で。なんかここが一番大事やってずっと言い続けてんのに、なんでこんななんかなと思うわ。毎度毎度。

(委員)

- ・この関係機関との調整でなんか令和3年度に色々あるでとかいう。塗るとか塗れへんとか。これは実施できてるん。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・ほぼ、塗る塗らない関係はできておりますんで、ルートが変更される場合はまた協議しないと駄目ですけど。

(委員)

- ・そやったら、それ、はよせえって言われたら、ずっと塗られへんのんとちゃうん。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。なのでそれは、もしルート抑える場合は早くしないと駄目なんです。

(委員)

- ・そやから一番問題になってるのはこの 55 番かなんかの信号の設置とか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、はい。

(委員)

- ・そのところであったりとか、後はここに書いてある承諾書というのがあるけど、時間帯通行規制ができるんかでけへんか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、はい。そこはもう警察さんの方で今検討して頂いてて、次回の安全部会までには結果を出していくということなので、それに合わせてできない場合に代替の案としてこういうことができるということをお示しできるようにしたいと。

(委員)

- ・時間帯通行規制というても、西生野の方、時間帯通行規制やけど、あんなん警察官が取り締まってない時なんか、ほとんど役立ってない。通行規制無視して通る車ってなんぼでもいてるんで。だから、そこはどこまでにいつになるのか。100 台おったら 10 台か 20 台は通るやろうけど、あと 80 台ぐらいは、通れへんから大丈夫かというそんな考え方なのかどうかというね。根本的にどうなんやって、西生野なんかでもあっこに柵みたいなやつ、ガードみたいなやつを置いてて、それを出して通行規制の間。ほんだら車が入られへんからというんで、入れへんかったけども、その通行規制が終わった後に片づけるというのも毎回毎回 100%できてなかったんで置かなくなりました。そのおかげで、あっこ車、通ってますよ、やっぱりね。その時間帯。通学時間帯という。そういうことをも中々でけへんようになってくるでしょ。じゃあ、地域が協力して、そういうのを出して、ほんまに時間帯通行規制やったら完全に通行止めできるんかという。それもちよっと問題なんかなというのがあります。で、遠いところから来るというのが、バスを使うというのも一案なんやろうけど、それが可能性的になんやったら、さっき言うてたように誘い合い登校というのをもっとしっかりときっちり決めて、小学校入って直ぐ 4 月の入学終わった後とかで、中学校 1 年生がまだクラブも入ってない時やったら、中学校 1 年生入った 7 年生も混ぜて登校してくれるとかね。そういう風に決めてもらった方がええんちゃうかなと。4 月、5 月とかでね、5 月とかもうクラブ入ってくると思うんやけど、最初の 1 か月ぐらいは 7 年生まで交えて通学するのに誘い合い登校というのをしっかりするって。その誘い合い登校というのが、やっぱり、他の学校でもやってると思うんですけど、重要になってくると思うんですよ。6 年生というか、面倒見のいい 6 年生が連れてきてくれる時は、すごい安全で行けたけども、面倒見が悪い 6 年生に、段々年が上がって行って、中学校行ったら 5 年生

の子が6年になって、6年生のお兄ちゃんが変わった瞬間に、なんかそれがめちゃくちゃばらばらになってしまったという例もあるんで、リーダーをやっぱりもっと沢山決めとした方がええんちゃうかな。6年生だけに負担かけるというのもあれやし。ほんたら、4月の最初のクラブとかせえへん間は、7年生も一緒に交えて行くとかね。その辺をもっとしっかり5年、6年、7年とかをリーダー確認してやっていくという風に。それを決めていった方が、バスが通る通れへんというよりも、もっと具体案ちゃうかって思うんですけど、その辺どうですか。で、地域からも、やっぱり小学校1年生、入ったばかりで学校まで遠いから、その間地域をもっと活用して、地域からバックアップをお願いしますというのでお願いして。確約もまだでけへんけども、ほんたら協力しますよと言うてもらったらどうやろうと思うんですけど。その辺どうですか。

(委員)

- ・ すいません、ちょっといいですか。一応部会の方で色々お話はさせてもらってまして、まず先程言われた、区長がちょっと預からしてくれという風に言われたバス出せる出せないの話なんですけど、まずそこを決めて頂かないと部会の方でも、じゃあこの学年、この区域の子は乗せる、乗せへん。そもそも、いや、誘い合い登校でその子はバスに乗るのに、呼びに行く呼びに行けへんとかというその辺の周知をどういった方法でというのもあるので、まずそこをちょっと固めて頂かないと、部会の方でも通学についてどこまでどう進めるのかというのがまず出ないのがひとつです。で、今の現状の通学路のルートに関しては、先日の安全部会で福井警部補にも来て頂いた上で、今までは行政は警察の方と調整中、調整中で、結局蓋開けたら何も決まってないという状況でした。前回ようやく入って頂いて、こちらの意見をぶつけさせてもらったんですけど、それは素人がここをこうしたいあほしたいで、一地域が国の法律を変えるのは無理やと思うんです。だからもし、それを福井さんの方にも今後入って頂いた上で、こっちのルートに変えた方がこういう対策が取れますよというのがあれば、ルート変更をしていくべきじゃないかなという風に考えてます。もう本当に校長先生方が話し合われたルートとは思うんですけど、急がば回れじゃないですけど、もう早急に進めていかなあかん。まずルートを決めなあかんという段階ができてないので、次回の部会開催までじゃなくて、もう早急に部会を取って頂きたいという風に思ってます。今、前回の部会では、こちらの投げた要望に対して、じゃあ一月間ぐらいパンを空けて、警察、大阪府警本部に確認を取ってという状況やったと思います。じゃなくて、もうそもそものルートから再検討をした方がいいのではという風に考えてるので、ちょっとその辺でどうでしょうか。行政の方と先生方と警察の方とで。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・ 日程調整等、検討させていただきますので。

(委員)

- ・ それと後、バスの子が不可能になった時に生野区の義務教育学校、初めての義務教育学校、大阪市でというんやったら、それでなんか予算取ってこの信号機設置でけへんのか、そういうところに通学時間帯だけガードマン雇うとか、そういうことは考えられへんのかな。

バス走らすよりも安価やと思うんですけど。危険なところというたら、大体大人の目でも分かっていると思うんですけど、全部が全部危険ということじゃないやろうけど、この信号を設置してくれとかいうところは、まあ危険なんやろうし、広い道路のところというのもちょっと危険なんやろうし、そのところを何か所か、警察に見てくれというのも、ちょっと他の業務があるから無理やと思うんですけど、それを義務教育学校を初めてすんのやからというんで、なんか予算取って、安全対策ということで、ガードマンなり、なんなりを設置できるようにという動きも大切なんちゃいます。こないだもあんな事故が起きたし、文科省が上げて安全対策を言うてんねんから、国がお金出してくれって言うたらええんちゃうかな。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- その話というか、そういう全市のに見直しというか、全国的にですね、そういう話は今あって照会をかけているところです。バスって凄く本当にハードルが高い中で最後まで粘ろうと思って、かなりやっているのは事実なんですけれども、いかんせん色々上手く通らないとか確約できるものが中々なくて申し訳ないところもあります。で、前提として、基本的に低学年だけ乗せる、乗せないにしても、普通の学年の子達がきっちり歩いて登校するというのを考えると、基本的には今の路線での安全対策を進めておくということは必須だとは思っています。特にちっちゃい子達の、暑い日とか雨の日とかどうするんやというような声が大きい中で、選択肢を増やすためにずっと検討というか調整とか色々しているところですので、並行して進めるということ、警察と学校と私達の協議が必要というところで行くと、それは早めに、もうなんていうかな、自分としてはぎりぎりまでやれる選択肢をやっぱり前例も超えて何とかしたいという思いで、答えを出し切れてないところがあるんですけども、一定早くルートを確認して、一旦案を固めた方がいいというところもありますので、勿論動きは止める気はないんですけども、そこはまた場を持たせてもらって、協議を早めをしたいと思っています。ご意見ありがとうございます。

(委員)

- 逆にそれが、ぎりぎりまで粘って、いやあきませんでしたというのを、そのために違う、その案も並行というような。やっぱりそのハードルは難しいと思います。で、その信号設置、これの番号でいう、僕も何回も言うてるけどこの45番。ちょうど今そういった消防署のどこからずっと行く抜け道あるんですけど、45番。これ多分福井さんも御存じや思うんですけど、結構ここ事故多いんです。接触事故とか、人身事故とかもあります。信号もこの45番もないんです。今年入ってからでも、僕こども利用したりもしますけど、結構もう警察も警察官はよくここで歩くのは、多分もう警察の方は御存じや思うんです。ここはもう非常に危ない。今里筋からの抜け道でそのままずっと長いし、道ずっと行けるんで、疎開道路まで行けるんで。結構この川を越えて直ぐのところっ、て結構スピード出たりするんです。でそれをもう1個向こう行くと信号があるんで、結構ほんまに一旦停止もなくて、ほんまに今までも多分人身事故もあるのも聞いてます。ほんで、今年入ってからも僕なんか2回ぐらい警察、そういうような事故調査みたいなのも、接触の案件で出てくると聞いてます。僕としてはちょっとここが学校から離れた状態でちょっと危険やなとい

うのは、僕はここ何回も、ここの箇所はちょっと言うてるんですけど、実際まあこの辺、多分事故の分は出てると思うんですけど。この辺結構事故多いんですよ、福井さんどうですか。

(福井生野警察署警部補)

- 45 番のところですが、仰る通り確かに事故。警察としては5年間の統計の方がデータ上、残っておるんですけど、この地点では数件人身事故があり、1件は重症というのは多分御存じだと思いますが、私の方でも認識しております。生野の担当官として、確かにあの道路が他の道路に比べて危険性が高いというのは、認識はしているつもりです。ただ、今現在の信号の新規設置基準というところから照らし合わせますと、現在のところかなり難しい状況であるというのが現在の回答になります。正式回答は今しばらく待って頂いて、次までには出させていただきますが、中々正直なところ難しいというところで。どの辺までできるか、警察としてどういう風な規制ができるか。あそここのところ確かに川の方から出てくる方の道が広くて、一時停止ということがかかっているんですけど、そこも本来であればもっと小さな標識のところ、大きい標識をつけております。そういったことも含めて対策の方はさせていただいているところではあります。これ以上に、どういう風なことができるかというの、次までには出させたいと考えております。よろしく申し上げます。

(委員)

- 一応、警察の方もやっぱり事故が多いというのは御認識されてると思うから。この辺、舍利寺さんも通行でこれになってますけど、やっぱりこれが心配なんやろね。

(委員)

- すいません、ちょっとお聞きしたいんですけども、その向こう側の今信号ついてるところの北行きの道路って、あれ1時間300台走ってるんですかね。

(福井生野警察署警部補)

- 北行きの一方通行道路の事を仰ってますか。

(委員)

- はい。

(福井生野警察署警部補)

- それが1時間300台……。

(委員)

- 走ってます？

(福井生野警察署警部補)

- 走ってないと思います。

(委員)

- なんでそれで信号ついてるんですかね。設置基準にありませんよね。そういう矛盾があるんで。

(福井生野警察署警部補)

- いやちょっと待ってください。ちょっとそここのところについて説明させてもらいますと、それはあれがついたのが何年かは、私はちょっと分かりませんが、その当初と今とでは設

置基準が違いますというのだけ説明させて頂きたいです。当初、どういう風な基準になってたか分からない、どういう風な大阪府下の方針になってたかというのもちよっと分からないですけど、現在の基準並びに方針でいくと難しいと。確かにそうやって通行量の少ないところで現在ついでる箇所は多いと思います。そういったところについては、どちらかというともう撤去できるのであれば撤去し、他の安全対策に替えたいというところはあるんですが、既存の信号というところの撤去となりますと反対も多く、中々ちよっと進めるのは、難しいというところを考慮しておると、昔の基準とちよっと違う、それが、統一性がないと言われればそれまでですが、時代も変わっているというところを御認識頂きたいと思います。

(委員)

- ・今後、子ども達がそういうところを通していくというのは、そこの変っていくじゃないですか。その辺をもうちよっと柔軟に対応して頂きたいのが我々保護者の声なんです。基準があるのは分かりますし、それに準じて作っていかないと規則だらけになってしまうというのも仰ってるのもよく分かるんですけども、やっぱり状況が変わっていく中でもそういうところでは柔軟に対応して頂きたいのが1点。後、次回の部会までに僕、安全部会の方で大阪の交通整備されたところのデータをくださいという風に言ってたんですけども、それも出てないということなんで、それも出して頂きたいんです。カラー舗装して事故の件数がどれだけ減りましたとかというデータを大阪の方で取ってるデータを出してくださいって言うてるんですけども、それもまだ出てないので、それも出せるのであれば出して頂きたい。それも確認しておかないと我々が、安心ができないので。

(委員)

- ・そんなデータあんの。カラー舗装する前の事故数とカラー舗装した後の事故数を検証という、そんなん。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・すいません。事故数に関してというのではなくて、大阪での。前回、前々回ですかね。スピードが落ちたという、他都市、大阪府、大阪市外のデータというのを建設省の方が出しておりましたので、それを資料としてお付けさせて頂いたんですけど、大阪市の方でそういったデータがないのかということで要望頂いたんですけどね。すいません。大阪市の方にも、建設局の方なんですけどね、確認させて頂いたんですけど、そういうデータはないということやったのです。ちよっと報告の方できてませんで。

(委員)

- ・なんで今それを言うの。もっと前に分かってんのちゃいますの。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・すいません、ちよっと。

(委員)

- ・ちよっとちゃうやん。だからこんなんの積み重ねで今になってるんでしょ。

(委員)

- ・まあ大阪市全体のデータと言うたら多分それはもう無いとは思いますが、僕が前見たのはほんまに、その地域、新しい学校になりました、それで通学路が変更になりました。要はある小学校が統合になって通学路が変更になったという、その1つの学校のその地域。茨木やったら茨木とかの。そんなんは多分データとしては僕は見たいですけどね。要はカラー舗装にして何パーセント、で向こうは通学路で、要は通行区分にしたいけど、ほんならここは通られへんかったら、車ってもう抜け道探して、ここは台数はもう減ったけど、違う抜け道で通って、ここはまた危ないというのは、地域地域では多分。

(委員)

- ・交通量違うやん、地域地域で。

(委員)

- ・うん。

(委員)

- ・区長は今のが、答えやねんな。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・あの。

(委員)

- ・今、舍利寺の子が聞いたみたいに、「何で今頃そんな事言うねんというのが答えやんな」これ。この会議の意味やんな。何で今頃、何でそれになんねん。多分、福井さんも初めて聞いたんちゃう。はっという感じやったもんね、見てたら。聞いてないやろう。だから「毎度毎度何でそれやねん」って聞いてんねんやから。連絡、報告、何で反対の地域があんの。密に説明をしないから、丁寧な説明をしないからって言って反対してる訳やんか、ずっと。俺等行政に寄り添って来てて、そういう説明がなされて無いて事やんか。まして舍利寺の子なんかは、反対の所からわざわざ来て、自分等の子どもの安全が大事やからって来よるんわけよ。それが要望したのに対して、今、すいません。調べても無かったです。「何してんねん」って話やろ、毎回毎回。やめるか、これ。なあ。こんな、もうないやろ普通。ここまで皆が寄り添って来て、いや、すいませんね。調べてませんでしたわ、あほちゃうかお前等って話やで。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・今のご質問があった件が、いつで、いつに返す予定だったのかというのは、ちょっと私も把握してなかった。

(委員)

- ・いや、全てがアウトやねん。1つの事が。

(委員)

- ・せやんな。

(委員)

- ・今の件だけで、僕は言うてるんちゃうねん。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

・はい。

(委員)

・それを聞いてないというトップもおかしいと思うんですよ。報告行ってませんやん、ちゃんと下から。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

・議事録は来ています。ただちょっと細かいところまでは、私が今パツと出てこなかったの  
で。今大阪市としてのデータ、カラー舗装によるその交通事故の減少のデータは無いとい  
う答えだったんですけども、今、多分自治体であれば、50%減であるとか、出会い頭の  
事故 68%減というデータは香川のデータですけどもあります。ただそれぞれ交通量で  
あったり、見通しが違うという事もあり得るとは思いますので、一定効果が無いものと言  
う訳では無いという答えはできます。ただ大阪市のデータが存在していないという事を把握  
して、直ぐにお返ししてなかったという点についてはお詫びをします。申し訳ありません  
でした。

(委員)

・もうせやから。

(委員)

・謝ったら済む事じゃ無いねんて。

(委員)

・もっと、まあ近々に迫ってる事やから、もっとしっかりと決めていかなあかんと思うん  
です。せやから、バスが通る、通れへん関係無しに、ガードマン雇えるだけのお金を取れる  
のかどうかとかね。青パトもある訳やんか、青パトももっとその通学の時間帯に、もっと  
活用したらええんちゃうかと。そんな昼間とかしょうもない時に走り回らんと、通学の時  
間帯を重点的に、青パトを利用してこうする。事故が多い日を抑止出来る様な道路であ  
れば、多い日を抑止するとかいう事をして、で通学の安全を確保するとかいう風にもう考  
えていかんと、もうほんまに後半年しか無いんで、今こんな言うてても中々進んで行け  
へんし、今更信号を 300 台通れへんからって言うて、設置出来へんって言うんやったら、学  
校から毎日 300 台、車連れていって通ろうかぐらい言うて、そんなんで信号設置できるも  
んでもないやろうし、だからその辺をちょっと具体案できっちりとしていくと。生野警察  
も忙しいとは思んですけど、新学期の 4 月入って、入学式終わった後の一週間、二週間  
ぐらいは、やっぱりちゃんと交通整理を危ない所は、警官出して子どもの安全の為にちよ  
っとお力添えさせてもらいますわとかいう風に言うてもらったら皆納得すると思うん  
ですよ、毎日毎日出ろって言うてる訳では無いし、小学校 1 年生入って、学校慣れてない子  
が、例え 1 週間でも 2 週間でも警察官がおって、安心して通学出来るという風にしてもら  
えば、より警察に対しても感謝の気持ちもあると思いますし、その辺もちょっと考えて頂  
いたら良いかなと思うんですけど。それをもうちょっと行政とか、地域とか、学校とか全  
部の助け合いというか、共同での思いやりを持って、子どもを育てていこうというのにな  
ると思うんで、それをもっと具体的に進めてもらいたいなと思います。

(委員)



- ・やっぱり見守り隊とか民間の方であると、そういう通行区分と違って、特にそういう強制力も無いんで、いうのは、今の新しいその16番がもう全ての学校、登校で集中する所なんで。で、今現状生野中学校の西向きは時間規制になってます。その反対側、時間規制するかしないかという事なんですけども、やっぱり16番の学校の交差点、疎開道路の交差点の所が、見守り隊の、民間の方とか、例えばガードマンとかでも、民間なんで全然強制力が無いんで、やっぱりその辺は何か警察の方を配置して頂きたいかなというのは、ちょっと見守り隊とかの要望も一応聞いております。

(委員)

- ・ずっとというのは多分無理やけど、新学期始まった時ぐらいは、それとかデモンストレーションで白バイをちょっと走らせてやとか。そんなん考えてもうたら、より皆市民とか府民も理解される警察やと僕は思うんですけど。

(委員)

- ・というか何で今この話なん。何で今警察に、「すみませんお願いしますって、新学期には」という話なん。もっと前やろそれって。もっと前にやってなあかん話ちゃうの。何で、ここで今こんな話が出るん。

(委員)

- ・具体で多分役所から警察にお願いはしてはるんやとも思うんやけど、こういうのは言う機会というのは、今日ね、福井さんが来てくれてはったから言える場がありましたけど、わざわざ陳情にPTA全部集まって生野警察に押し掛けて、あっこに多人数で押し掛けたらあかんとかというて書いてあんのに押し掛けて、陳情する訳にもいけへんしね。だからこういう場に出て来て貰って、この場やから言わせて頂きました。だから、それをちょっと前向きに考えて貰って、ちょっとでも良い具体案があればお願いしますわという事ですわ。それとまあ。

(委員)

- ・俺にしたらなんで今なんや。もっと前やろって。俺らが福井さん等生野警察署に頭下げるのはもっと前の段階や。

(委員)

- ・そやな。そういうもんやな。

(委員)

- ・もし前の段階で頭下げて、もしわし等の事お願いしますって頭は、俺らはなんぼでも下げるって言うてんねん。子ども等の為やったらって。それがこの場が出来たのは今や。何で。

(委員)

- ・もっと、ちゃんと、その当時そう考えてなかったんやろ。僕もそうやから。今やからこれ言えるけども、その当時の僕は、その当時はもうそんなんせんでも出来るわと思ったから、信号付けなあかん所はなんとか信号付くやろうとか、ほんで、横断歩道付けなあかん所は横断歩道付くし、ガードレール設置する所は、ある程度ガードレール設置出来んねやろうとか。後、区長が言うと思ったように、バスなんかも、もう半分以上は利用できるんち

やうかという風に思ってたんで、それが結果、こういう事になったんで、それを今更蒸し返してもしゃあないんで、これから具体的にちゃんとええ方向に向いていきたいと思うんで、ご協力お願いしますわという事ですわ。各学校にしても、やっぱり集団登校って言うか、誘い合い登校というのをもうちょっと具体的に考えて貰って、今からでもちょっと試験的に、実施というのもありかなと思いますし。中学校さんも一緒になってしまうので、ご協力も小中、できてるはできてると思うんですけど、お願いしますわという事ですわね。

(委員)

- ・安全部会としてはどうしとんのかな。まあ納得できる答えがないんやけど。

(委員)

- ・すいません。一応部会としては、まずルートを確認したい、の前に、とにかく連絡だけは、前回のこの適正配置の会議で、僕が聞いてないってなったんです。で、今回は別の委員が聞いて無いってなる。で、何でやねんってなってるんで、とりあえず、お忙しい中、来て頂いてる福井さんも、いや、聞いて無い。もう完全に行政の放置であると思うんで。まずそこをもう今後は無い様にして頂いて、まず部会としては、もうルートをもう決めないと駄目やと思います。で、福井さんも入って頂いた上で、こっちのルートに変えた方がこういう安全を取る対策取れますよ、というのをもう早急に決めて、で、それから子ども達、誘い合い登校、集団登校、まだ決まってませんが、そのルートで実施していく。もう時間無いです。はっきり言うて、本当に時間無いと思ってます。日程調整するならもうして。部会取るのであれば。それぐらいでもええしね。日程は空けてます。なのでもうちょっと姿勢を見せてください。もう過ぎた事をウダウダ言うつもりは無いので僕。とにかく開校迄に、もう絶対間に合うようには部会で行きたいと思っているので。兎に角部会を取ってください。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・分かりました。早急に対応出来る様にいたしますんで、よろしく願い致します。

(委員)

- ・ありがとうございます。意見は尽きないと思うんですけど、他何かご意見ありますか。

(委員)

- ・ルートのお話今出ましたけども、ちょっと、さっきの話とちょっと被るところがありまして、ルートが固まった際には、やはり舍利寺小学校は遠方であったりとか、うちで言うたら林寺の遠方で、今度新1年生になる小さい子いますよね。そういった方が実際に安全で安心して、生野未来学園に通う事が出来るという確認をしとかなあかんと思うんです。要はこのルートを通して、例えば何時に家を出れば、生野未来学園に、登校時間にきちんと間に合っちゃんと準備が出来るとか、何かそういう最終確認をやる事によって、一応安全対策言うんですかね、それを1つの評価と言うんですかね、そういうのを是非確認して欲しいんです。特に林寺地域で考えると、中学校になった時に生中に通うというパターンなんですわ。小学校の1年生からあの場所に通うというのが無いので、実際その子が歩いて何分かかるんやろうとか、その辺はしっかり最後確認しておいて欲しいなというのはあ

りますので、ちょっとこの場をお借りして提案させて頂きたいと思います。是非お願いしたいです。以上です、はい。

(委員)

- ・一応、今のご意見に一個、参考程度に添えさせてもらおうと、うち去年なんですけど、ごめんなさい。去年ですね。ごめんなさい。うちの一番下の子が去年は1年生だったんですけど、一応このルートがある程度出た時点で、僕と校区内の舍利寺の端っこまで行って、我が子と歩きました。生野中学校迄。で、その時で25分かかってます。一応これ参考程度で。で、もし1人で、もしくは2人とかで歩くのであれば、多分色々目移りすると思います。なのでもう少し時間を見てもいいのかなという風には思ってます。途中で、足痛い、喉乾いた、もう子どもやから好きな事言います。これを誘い合い登校にしているのかどうか、学校だけの指導でその場で、まとめられるのかどうかというのが僕の思ってるところです。まあこれは参考程度に、はい。

(委員)

- ・それは前に多分各校の方で、多分実施されたんちゃうかな？もあれやし、区長のお子さんなんかもこっちの方へ向かってというのも一応聞いてはいるけど。まあそれに対して、大人と付き合って歩くんやったらなんやけど、やっぱり小さい子同士とかやったら、それに対して関わるんやったらこうしようというので、進めていくのが早いと思います。

(委員)

- ・その辺りは細部も部会の方で詰めていくようにしますので。

(委員)

- ・実際に決まった分と、ちょっと歩いて頂くことで確認をして頂きたいということでお願いいたします。

(楠井生野中学校長)

- ・学校の方でも、前回部会の方をさせて頂いて、保護者の方からもご意見頂いたんで、僕が持ち帰るんで、昨日も話をさせて頂いて、集団登校なのか私達が提案してた誘い合い登校なのかということも含めて話をしております。今、委員の方からありましたように2人歩いてということも、どうしても2学期以降、当然、先程もありましたけど学校だけではできないので、地域の見守り隊の方への依頼ですとか、PTAの方への依頼とかというのをどういう段取りで、前回きっちりご説明できなかったんで、その話2学期以降どういう段取りで、子ども達も中々、今コロナも厳しいので、難しいところはありますけども、何回か登校の体験というものもどうにか踏み込んでいかなあかなというようなところを学校的にも話をしてたんですけども、まだ結論出てないんですけども、その辺り次回の部会までに、実際に歩くというのは警察とか行政とかじゃなくて、学校の方になってくると思いますので、その辺りは2学期以降の通学路の方法が固まってると思いますので、2学期以降実施していきたいなという風に思ってます。検討を進めてるので、次の時また意見交換させて頂けたらと思っておりますのでよろしく申し上げます。

(委員)

- ・ありがとうございます。その他ご意見なんかございます。

(委員)

- ・今、コロナ禍で色々決め、やっぱり後でこれ説明あると思うんですけど学校選択制のこれも期限決まってる訳じゃないですかね。言えばなんかやっぱり通学路に不安な学校というのに、いわゆる行くか行きたくないか、行きたいけどちょっと不安みたいでというのもあるし、だからこういう学校選択制の期限とかをやっぱりこういうのに合わせてきちんと決めていく。期日もやっぱり守らないと、実際その辺説明があると思うんですけど、学校選択制の。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・すいません。今ご意見が出ましたので、今日学校選択制のパンフレットと後、在校生についても、来年の春に新しくできる学校を選ぶことが出来る特例制度、こういった形で今週以降保護者の方にお話しするという公開の意味で説明を頂きました。その意味ではその指摘とかがありまして、だから良いというつもりは決してないんですけども、この当然校区外から選んで来るお子さんについては、登下校についての責任は完全な保護者責任というのが、これ制度になります。だから繰り返しますけども、だから良しとするつもりはありません。今、委員からありましたように、きっちりとこの校区内の安全対策は、急いでやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。一応今ご紹介いたしました通り、こういった形で新しい学校の考えということで、今週以降新入生の保護者と今在校生の方、保護者の方についてご案内するという段取りになってますので、また後程ご覧頂ければと思っておりますのでよろしくお願ひします。

(委員)

- ・ありがとうございます。10月29日ってもう直ぐやな。宣伝。生野未来学園というのを宣伝、もっとできるんですかね？宣伝していっぱい来てもらわんと、新しい良い学校を作った意味がないなと思うんで、目一杯来れるようにお願ひします。

(委員)

- ・生野のって確定なん？生野未来学園のこれというのは、これはもう渡す部分の確定版ですので。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・はい、これでもう印刷も終わりました、配布に入ることになります。

(委員)

- ・はい、ありがとうございます。ここに制服の写真が入ってないのが寂しいけど間に合わんからしゃーないね。他ご意見ありますか？なければ今月の検討会議を終了します。事務局よろしくお願ひします。

【その他】

(時間帯規制にかかる承諾書について)

(説明者：大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

(資料3について説明)

- ・すいません、最後の挨拶の後になって申し訳ない。資料一番後ろに付けてます。ホッチキ

スで止めてる資料を入れさせて頂きまして、先刻来、動いています。時間帯交通規制の関係で生野中学校正門から東に向いて行くところ、そのエリアに今後、全ての、今現在4小学校区全ての校区の児童、特に舍利寺小学校の児童の全員、生野小学校区もほぼ全員通るであろう道に関しまして、まだ警察の方から回答はまだない状態ですけども、回答を頂いても速やかに、もし行けるという話、もしくは是非ともやって頂きたいという話も含めて、沿道の承諾が必要になってきます。実際にやるとしても。事前に承諾をお願いしたいと思ってまして、お願いする文章を入れさせて頂いております。こういった形で、当該の地域になりますのが生野連合と西生野連合になってまいります。ですのでその両地域、または会長様へのお願いを今後させて頂きしますので、事前にとりましてお話しさせて頂きしますので、またご協力の方よろしく申し上げます。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・では、すいません。次回の検討会議、また安全対策専門部会につきましては、別途調整の方をさせて頂きしますので、次の参加もよろしく申し上げます。まず安全対策部会の方、早急に調整に入るというような形になると思いますので、またご連絡の方をさせて頂きます。よろしく申し上げます。

#### 7 主な確認事項

- ・標準服等専門部会において選定した標準服等・体操服等・通学用バッグ等について、意見交換のうえ、次のとおり決定した。

標準服等は、資料1①のNo.4とする。

体操服等は、資料1②のNo.1とする。

通学用バッグ等は、資料1③のNo.3とする。

通学帽について、提案色の紺色よりも、提案の標準服(上)にできるだけ近い濃い色の紺色とする。また、価格が200円上昇することについて了解が得られた。

後期課程用のシャツのボタン箇所につけるマークについて、現行の「I」ではなく、「M」とする。

標準服等の学校用品及び使用する学年は、資料2①のとおりとする。

標準服等の貸与品及び貸与対象の学年は、資料2②のとおりとする。

- ・標準服等専門部会において絞り込んだエンブレムについて、意見交換のうえ、資料3③のNo.8(A)とする。
- ・安全対策専門部会について、通学路ルートを確定するため至急部会を開催したうえで、早急に安全対策を検討する。また、これまで委員からいただいた意見に対して未回答の件について、至急回答するものとする。

#### 8 会議資料

- ・議事資料1 標準服等専門部会開催結果
- ・資料1 標準服等
- ・資料2 学校用品(標準服等)一覧・貸与品一覧
- ・資料3 エンブレムデザイン

- ・報告資料1 安全対策専門部会開催結果
- ・資料1 通学路図
- ・資料2 部会等での意見
- ・資料3 承諾書様式